事　務　連　絡
令和８年７月 24 日

都道府県衛生主管部（局）御中

厚生労働省健康・生活衛生局がん・疾病対策課

ヒアリに刺された場合の医療的留意事項について

ヒアリに刺された場合の医療的留意事項について連絡いたします。

ヒアリは、南米原産で体長は 2.5～6mm 程度、体色は主に赤茶色の有毒のアリです。世界では北米やアジア等にも外来生物として侵入・定着しており、世界各地で大きな問題となっています。

ヒアリは、極めて攻撃性が強いとされており、刺された際には、アルカロイド毒により、熱感を伴う非常に激しい痛みを覚え、水疱状に腫れ、その後、膿が出ます。

さらに毒に含まれる成分に対してアレルギー反応を引き起こす例があり、局所的、または全身にかゆみを伴う発疹（じんましん）が出現する場合があります。欧米においては、アナフィラキシー症例も報告されています。

ヒアリの毒には、アルカロイド毒であるソレノプシン（2-メチル-6-アルキルピペリディン）のほか、ハチ毒との共通成分であるホスホリパーゼやヒアルロニダーゼなどが含まれています。そのため、ヒアリに刺された経験が無くてもハチ毒アレルギーを持つ方は特に注意が必要です。

ヒアリに刺された方がアナフィラキシー症状を引き起こした場合、アドレナリンを筋肉注射するなどの迅速かつ適切な救急処置をとる必要があります。アナフィラキシー症状への正しい対応については、別添「ヒアリに関する対応について（注意喚起）」（令和８年７月 24 日付け消防庁救急企画室事務連絡）も含めて、関係各所で御確認をお願いします。

貴部（局）におかれましては、本事務連絡の趣旨を御了知いただくとともに、貴管下の関係医療機関宛てに周知いただきますようお願いいたします。

なお、刺された時のアナフィラキシー症状出現時の対処方法を含め、ヒアリの特徴、生態、駆除方法等の参考として、以下も御参照ください。

〇要緊急対処特定外来生物 ヒアリに関する情報（環境省ホームページ）
https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/attention/hiari.html

〇ストップ・ザ・ヒアリ（平成 31 年改訂版　環境省発行）
https://www.env.go.jp/nature/intro/4document/files/20190314hiari.pdf

〇アレルギーについて　アナフィラキシー（アレルギーポータル）
https://allergyportal.jp/knowledge/anaphylaxis/

照会先　厚生労働省健康・生活衛生局
がん・疾病対策課
佐藤（内線２２９１）
南雲（内線２２９３）
青田（内線２３５９）
（代表番号）０３－５２５３－１１１１